

2017 年度

アメリカ派遣留学報告書

留学先：セントラルミズーリ大学

留学期間：8月23日（水）～12月8日（金）

新潟国際情報大学
国際文化学科
学籍番号：21016027
片桐 実佳

目次

1	留学先及び留学期間	3
2	留学先概要	3
3	留学目的	3
4	留学内容	4
	4 - 1 留学のスケジュール	4
	4 - 2 留学の詳細	5
5	所感	7
6	おわりに	7
	謝辞	7

付録

	留学日誌	8
--	------	---

1 留学先及び留学期間

留学先：セントラルミズーリ大学

留学期間：平成 27 年 8 月 23 日（水）～平成 27 年 12 月 8 日（金）

※帰国は 12 月 9 日（土）

2 留学先概要

(1)大学について

セントラルミズーリ大学は、ミズーリ州のウォレンズバーグに位置する。1871 年に設立され、様々な専攻があり幅広い学位も取得することができる。およそ 13,000 人の学生が在籍し、ミズーリ州以外から 43 州、57 ヶ国から留学生も集まっている。航空基地が近くにあることから航空学が有名であり、パイロットを目指す学生が多く集まっている。キャンパス内にはスポーツジムやボーリング場、映画館など様々な施設がある。学生寮は 13 棟あり、教室棟まで徒歩 10 分以内の場所に位置する。

(2)大学で行われている教育について

セントラルミズーリ大学は様々な専攻があり、幅広い学位も取得することができる。そして今回お世話になったコースは、英語を母語としない学生のために英語を教育するためのコースであった。クラスは 3 から 9 のレベルに分けられ、1 クラス 15 人程度の少人数で授業を行った。そのため、自分のレベルに合ったクラスで勉強することができる環境であった。日本人の学生の他に、韓国人、サウジアラビア人の学生がこのコースで勉強していた。

3 留学目的

今回の留学の目的は英語力を上げることと、アメリカの文化に触れ、学ぶことである。将来英語に関わる仕事に就きたいと考えているため、TOEIC のスコアを上げることに加え、スピーキング力やリスニング力を高めたいと考えた。それらが高めるためには、英語を母語とするアメリカに留学することが最善だと考えた。アメリカではすべての授業が英語なので、英語しか使うことができない環境を作ることで、英語を話す機会、ネイティブな発音を聞く機会が増える。この環境で学ぶことで、英語力を高める機会になると考えた。また、アメリカに留学することでアメリカの文化に触れることもできる。日本でもアメリカの文化について学ぶことはあるが、実際に行って文化に触れることで、アメリカの文化をより知ることができ、日本の文化との違いを比較できると考えた。以上の 2 つの理由を目的とし、アメリカへ留学をした。

4 留学内容

以下から留学の内容を記述する。

留学期間中に行った活動の詳細は付録に記載する。

4 - 1 留学のスケジュール

留学期間中のスケジュールは以下のとおりである。

月	日 (曜日)	内容
8	23 (水)	到着・入寮
	24 (木)	オリエンテーション
	25 (金)	
	28 (月)	授業開始
	29 (火)	通常授業
9	~ 29 (金)	
10	3 (火)	中間テスト
	~ 5 (木)	
	9 (月)	通常授業
~ 11		
11	17 (金)	
	18 (土)	Thanksgiving Break
	~ 26 (日)	
	27 (月)	通常授業
12	~ 1 (金)	
	4 (月)	期末テスト
	5 (火)	
	6 (水)	卒業式 (Award Ceremony)
	7 (木)	TOEIC テスト
	9 (土)	帰国

	月	火	水	木	金
1	Reading	Communication Skills	Reading	Communication Skills	
2	Writing	Grammar	Writing	Grammar	Weekly Check-In
3	Accent Reduction	American Culture	Accent Reduction	American Culture	
4	American History	US and JAPAN Relations	Writing Lab	Grammar Lab	
5	TOEIC Preparation		TOEIC Preparation	Conversation Partner	

4 - 2 留学の詳細

スケジュールに記載してある各項目の内容は以下のとおりである。

i) Reading

セッション 1 では教科書の長文を読み、内容を理解して問題を解き進める授業であった。セッション2では小説を1冊取り扱って授業が進められた。週末の宿題で3章ずつ読み進めて、小説に出てくる人物や重要な出来事についてまとめた。それを授業内にペアやグループで発表し、内容の理解を深めた。また、毎週単語のテストをし、重要な単語の確認をした。

ii) Writing, Writing Lab

様々なテーマを基にエッセイを書く授業であった。最初は文章の構成について勉強し、その後、Outline, First Draft, Second Draft, Final Draft の順にエッセイを作成していった。時間内にエッセイを書き上げる Timed Writing も行った。

iii) Communication Skills

毎時間、教科書に基づいて1つのテーマを取り上げてクラスで話し合う授業であった。3人から4人のグループに分かれ、そのテーマについて話し合った。さらに、リスニングをしながらメモを取りサマリーを書く Note Taking もした。

iv) Grammar, Grammar Lab

教科書に沿って文法を学ぶ授業であった。ペアやグループでその日習った文法を使って、会話の練習もした。

v) Accent Reduction

4人から5人のグループに分けられ、50分間様々なテーマに基づいて会話をした。担当の先生が会話の中で使われた単語の発音を指摘してくれ、練習しながら会話をする授業であった。

vi) TOEIC

クラス分けはなく1つの教室で4つのグループに分けられ、毎時間リスニングとリーディングの問題を解いた。解答を確認してわからない問題があれば、グループの人や先生に質問をし、また問題を解いていく授業であった。

vii) American History

この授業はアメリカの歴史について学ぶ授業であった。グループごとにアメリカの歴史が書かれた本を1冊選び、読んでプレゼンをした。

viii) American Culture

この授業は、アメリカの文化について学ぶ授業であった。Halloween について授業を受けた時には、校外学習として Pumpkin Patch に行った。Thanksgiving の時期には、授業の一環として Thanksgiving の時に食べられる料理を食べた。

ix) US and JAPAN Relations

アメリカと日本の比較をする授業であった。第二次世界大戦についてアメリカから見た思想や日本から見た思想について、両国の文化の違いについてプレゼンテーションを行った。

x) Conversation Partner

国際情報大学の生徒2人に対し、現地の学生が1人ついてくれて会話やゲームをする時間であった。グループによっては、会話をするだけでなく、ボーリングや美術館に一緒に行く機会もあった。

xi) Weekly Check-In

この授業はセッション2のみで行われた授業であった。一週間の振り返りや、今後の予定について確認をする時間であった。

5 当初目的・目標への達成度

今回の留学の目的の達成度について、それぞれまとめる。

i) 英語力を上げること

帰国前に受けた TOEIC のテストは目標としていた点数には届かなかったが、そのテストを受ける前に、授業内で練習として受けたテストは、スコアを上げることができた。また、Accent Reduction の授業で発音の練習をし、その授業で学んだことを活かして、以前より英語を話す時に発音を意識するようになった。テストや授業を通して今後勉強すべき点が見つかったので、英語力の向上に向けて、勉強を頑張りたい。

ii) 文化に触れ、学ぶこと

留学期間中に様々なアメリカの文化について学ぶことができた。特に、休日はよく現地の学生が教会に連れて行ってくれ、礼拝をした。授業内でも Halloween の時期に Pumpkin Patch に行き、Thanksgiving の週には家に招待され、Thanksgiving の時に食べられる料理を食べた。このような機会にアメリカの文化について学ぶことができ、日本との違いを学ぶことができた。

6 反省・課題

約 3 ヶ月半の留学であったが、多くのことを学ぶことができた。今回の留学で成長できた面もあったが、今後の課題も見つかったので、これからも英語の勉強を続けて、英語力の向上へと繋げたい。

謝辞

今回、授業や生活の面で懇切丁寧な指導をしてくださったセントラルミズーリ大学の先生方、学生の方々、その他大勢の関係者の皆様に深く感謝申し上げます。また、アメリカ留学のための留学前の手続き、留学中のサポート、帰国後の各種活動への指導を賜りました、本学の先生方には心より感謝いたします。最後に、新潟国際情報大学からいただきました奨学金により、留学の参加が実現し、有意義な体験ができたことを、心から感謝いたします。

付録：留学日誌

9月14日

内容

Conversation Partner

所感

Conversation Partner と近くのカフェに行った。会うのが2回目だったので、お互いのことを知るために、家族のことや趣味について話をした。日本の文化や食べ物を紹介したら、とても興味を持ってくれた。

10月14日

内容

Homecoming Parade

Pumpkin Patch

所感

午前中は大学内で行われている Homecoming Parade に参加した。参加する国ごとに伝統衣装を着て歩き、日本人は浴衣や甚平を着た。国ごとに衣装に違いがあり、様々な伝統衣装を知ることができた。午後は、現地の大学生に Pumpkin Patch に連れて行ってもらった。日本のかぼちゃは緑色で大きさもそれほど大きくはないが、アメリカのかぼちゃはオレンジで大きさも大きかったので、違いがあって楽しかった。



11月19日
Thanksgiving Break
内容 Dinner

所感

大学の先生の家へ招待され、料理を食べた。Thanksgiving Break なので、家族や親戚の方など多くの方が集まって、テレビでフットボールの試合を観ていた。ターキー、マッシュポテト、グリーンビーンズキャセロールなどのサンクスギビングの時に食べられる料理を食べ、サンクスギビングの雰囲気を感じることができた。



11月20日～11月24日
Thanksgiving Break
内容 シカゴ旅行

所感

Thanksgiving Break なので、シカゴへ旅行に行った。初日と5日目は移動のため、観光をすることができなかった。2日目は、シェッド水族館とシカゴ美術館へ行った。シェッド水族館は世界最大級の屋内型水族館、シカゴ美術館はアメリカの三大美術館の一つであり、どちらも大規模で圧倒された。以前 Conversation Partner におすすめされたことから、夜はシカゴピザを食べた。焼きあがるまでに40分かかると驚いたが、普通のピザと違い、とても美味しかった。3日目はショッピングへ行き、夜はミュージカルを観に行った。マグニフィセント・マイルには多くのお店が並んでいた。この通りで、お土産などを買ったりした。ミュージカルは、会場やステージの華やかさに圧

倒された。歌やダンスも迫力があり、ラインダンスを見ることができて感動した。4日目は、Thanksgiving Day であったので、お店はほとんど閉まっていた。しかし朝からパレードが行われていたので、見てきた。楽器の演奏や、ダンスをしていたので見ていてとても楽しかった。その後、Cloud Gate と Wills Tower へ行った。Wills Tower は壁、床、天井がガラス張りになっているスペースがあり、シカゴの都市を見渡すことができた。この 5 日間でシカゴの都市の文化を学び、楽しむことができたので、いい思い出となった。



12月6日
内容 卒業式 (Award Ceremony) Conversation Partner

所感

セレモニーで 1 人ずつ卒業証書を貰った。この日がクラスメートと会うのは最後の日であった。多くの人と写真を撮り、先生方とも話ができて、とてもいい思い出となった。午後は、Conversation Partner と会った。扇子や折り鶴をあげたら喜んでくれた。最後に記念に一緒に写真を撮れたことは、いい思い出だ。